令和2年度豊里中学校　教職員学校評価（後期）

評価基準：4：よくあてはまる（9割以上）　3：ややあてはまる（6割以上9割未満）
2：あまりあてはまらない（3割以上6割未満）　1：あてはまらない

		質問項目	実数 4	3	2	1	割合（小数第1位） 良い傾向	悪い傾向
市の教育ミッション・ビジョン	1	学校は生徒の良き可能性を認め生徒の夢とこころざしを育む取組をしている	13	3	0	0	100%	0%
	2	深谷の子「6つの誓い」の具体的な取り組みが実践されている	10	6	0	0	100%	0%
	3	全教職員の共通理解の下、「学校が好きだ」と言える生徒の育成を図るために、具体的な取組が実践されている。	10	6	0	0	100%	0%
学校教育目標	4	校長の経営理念の下、学校教育目標の具現化に向けた取組が実践されている。	15	1	0	0	100%	0%
学校評価・情報提供	5	学校評価等の結果を踏まえ、HP、学校便りや学年・学級便りの発行を通して、学校に関する様々な情報を提供している。	16	0	0	0	100%	0%
教育課程	6	教育課程の実施に必要となる各教科等別の年間指導計画や週案などが適切に作成され、かつ実施されている。	16	0	0	0	100%	0%
	7	日課表や週時程の設定が適切である。	16	0	0	0	100%	0%
学習指導	8	教職員はわかる授業を目指してねらいを提示し発問や板書、指導方法を工夫している	15	1	0	0	100%	0%
	9	ICTを活用した授業が工夫されている	6	10	0	0	100%	0%
	10	生徒に家庭学習を推進し生徒の学ぼうとする力の充実に努めている	10	6	0	0	100%	0%
	11	生徒の学習意欲を考慮し、個に応じた指導や少人数指導などの工夫・改善が図られている。	8	8	0	0	100%	0%
	12	学校図書館を計画的に利用し、読書活動に積極的に取り組んでいる。	8	5	3	0	81%	19%
道徳教育	13	年間指導計画に基づいた指導がなされ、授業時数が確保されている。	15	1	0	0	100%	0%
	14	生徒が思いやりをもち、お互いを支え合い好ましい人間関係が築けるよう指導している。	16	0	0	0	100%	0%
特別活動	15	学級活動等を通して望ましい集団の育成が図られている。	12	4	0	0	100%	0%
	16	学校行事や生徒会活動は計画的に実施されており、生徒に感動があるよう工夫・改善されている。	2	8	6	0	63%	38%
総合的な学習の時間	17	総合的な学習の時間は、計画的な指導と適切な学習内容で行われている。	9	7	0	0	100%	0%
練習（資質向上）	18	校内の研修課題を明確にし、実践的な授業研究が組織的、継続的に実施されるなど、授業の工夫・改善を図られている。	9	7	0	0	100%	0%
人権教育	19	人権尊重についての意識や感性を高める指導が行われている。	14	2	0	0	100%	0%
生徒指導	20	いじめ防止等、問題行動への生徒指導体制が整備され、機能している。	14	2	0	0	100%	0%
	21	教育相談体制が整備され、機能している。	12	4	0	0	100%	0%
	22	生徒指導において、家庭・地域社会・関係諸機関との緊密な連携が図られている。	13	3	0	0	100%	0%
	23	清掃分担及び清掃指導が適切に行われている。	7	9	0	0	100%	0%
	24	掃除が行き届いており、校舎内外がきれいである。	11	5	0	0	100%	0%
	25	交通安全指導が適切に行われている。	15	1	0	0	100%	0%
進路指導・キャリア教育	26	進路指導・キャリア教育体制が整備され、機能している。	13	3	0	0	100%	0%
	27	進路に関して、生徒及び保護者への連絡や適切な情報提供を行っている。	13	3	0	0	100%	0%
安全教育	28	学校安全計画・危機管理マニュアル等が作成され、活用されている。	15	1	0	0	100%	0%
	29	安全点検が定期的に実施されている。	15	1	0	0	100%	0%
	30	生徒の安全について家庭や地域の関係諸機関・団体との連携が図られている。	8	8	0	0	100%	0%
保健教育	31	学校保健計画等が作成され、適切に実施されている。	15	1	0	0	100%	0%
	32	心のケアの体制が整備され、健康相談活動が実施されている。	14	2	0	0	100%	0%
	33	生徒の日々の健康状態を把握したうえで指導がなされている。	15	1	0	0	100%	0%

	34	家庭や地域の保健関係諸機関との連携が図られている。	13	3	0	0	100%	0%
特別支援教育	35	校内支援委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等の校内支援体制が整備され、適切に機能している。	13	3	0	0	100%	0%
情報教育	36	情報モラル教育を推進するために、その指導が組織的、意図的、計画的に実施されている。	15	1	0	0	100%	0%
	37	ICTや情報通信ネットワークを効果的に活用できる学習活動が実践されている。	13	3	0	0	100%	0%
組織運営	38	会議や職集は情報交換と連絡調整・課題検討の場として有効に機能している。	15	1	0	0	100%	0%
	39	校務分掌の分担により組織が機能的に働いている。	13	3	0	0	100%	0%
	40	学校は環境美化に努めている	14	2	0	0	100%	0%
	41	個人情報を保護するために、情報管理が徹底されている。	15	1	0	0	100%	0%
保護者･地域住民等との連携	42	PTA、地域団体との連絡は密に行われている。	15	1	0	0	100%	0%
	43	保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。	15	1	0	0	100%	0%
	44	保護者や地域への情報発信は十分できている。	15	1	0	0	100%	0%
教育環境整備	45	教室、廊下、校舎内の掲示物など、教育環境を整備している。	13	3	0	0	100%	0%
	46	備えられた教材・教具や教室等の施設を有効に活用している	7	9	0	0	100%	0%
その他	47	仕事を信頼と協働の意識を持って取り組んでいる	14	2	0	0	100%	0%

【考察】

9　ICTによって何ができるか、授業のどのような場面で活用できるかを考える。教科によって活用しやすいしにくの差がある。

12　コロナ禍において、図書館利用の制限があったため数値が低くなった。

18　学力向上に関して、教科部会を定期的に開く。

21　長欠生徒の対応等、学年の枠にとらわれず担任をサポートする体制を整える。

23,24　無言清掃を徹底させる。

28,29,30　自転車通学の決まりを全職員が確認し、登下校の指導の足並みをそろえる。

校外巡視を定期的に実施する。あいさつ、号令の充実を図る。

39　校務分掌の軽重をなくし、それぞれの担当の横の連携を充実させる。

41　職員の机上の整理や不備によって個人情報の流出や紛失等がないようにする。

43,44　保護者のアンケート結果とのずれがある。